

門川中発128号  
令和7年12月23日

保護者の皆様

門川町立門川中学校  
校長 永富 雅樹

### 令和7年度 保護者アンケート集計結果について（報告）

平素は本校の教育活動に対し多大なご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。この度実施いたしました学校評価アンケートの結果概要と、学校をより良くするための貴重なご意見について、今後の学校改善の指針とするべく、要点を下記のとおりご報告いたします。

#### I. 学校評価アンケート 結果概要（4点満点）

保護者の皆様の学校への協力意識は高い一方、生徒指導の成果や学校への信頼、環境整備について、非常に厳しい評価が示されました。

##### ● 改善が強く求められる項目（WORST 3）

評価項目	平均点
学校は生徒指導に力を入れ、その成果が上がっている	2.0
学校は清掃が行き届き、校内がよく整備されている	2.2
学校は保護者及び地域社会から信頼されている	2.3

その他、学力の向上、人権教育の推進、授業の分かりやすさも 2.4 と低い評価でした。

##### ○ 高く評価された項目（BEST 3）

評価項目	平均点
保護者として、先生方が時間外の勤務とならないように協力している	3.4
子どもは主体的に授業に取り組んでいる	3.0
部活動は活発に運営されている	3.0

#### 2. 学校をより良くするための主なご意見

ご意見全体を通して、「一部の生徒による深刻な規律の乱れ」と「真面目な生徒の学習権の侵害」に対する強い危機感が示されています。現状に対し、「崩壊寸前である」という強い危機感を抱いている保護者もいらっしゃいます。

##### ① 最も深刻な懸念：生徒指導・規律の乱れ

問題行動の具体例	指導に対する具体的な要望
授業妨害（離席、私語、騒ぎ）により授業が成立しない	真面目な生徒の学習権を守ることを最優先する

喫煙、スマホ持ち込み、買い物、ヘルメット未着用が横行	妨害する生徒には「出席停止」「別室指導」を適用する
校舎内の暴力、破壊行為、唾吐きなど「犯罪レベルの行為」が見られる、	警察・外部機関との連携など、より厳しい処罰を検討する

教員間で指導方針を統一し、見て見ぬふりをしないでほしいと、「毅然とした態度と厳罰化」を強く求めています。

## ② 学習環境の確保

- ・ 学習権の保障：騒がしい生徒への指導で授業が中断され、学ぶ時間が奪われている状況を改善し、安心してまともに授業が受けられるようにしてほしい。
- ・ クラス編制の要望：積極的に学習したい生徒や静かに授業を受けたい生徒と、授業を妨害する生徒を分けてほしい。
- ・ 検定試験：生徒の学力意欲向上のため、英検や数検を校内で受験できるようにしてほしい。

## ③ 学校運営と連携・責任の提言

主な提言内容	意見の要点
保護者の責任	問題の根本原因は学校だけでなく、親のモラルやしつけにあるという意見が多数。入学式などで親に厳しく責任を自覚させるべき。
教員への配慮	現場の先生方への同情や感謝の声が多い。理不尽な状況でよく耐えているとし、自身の精神や生活を守ってほしいと労う声がある。
外部連携の必要性	現状は学校だけで解決できるレベルを超えており、地域や行政（教育委員会）を巻き込むべき。
部活動	顧問の負担軽減のため、外部コーチや外部委託をさらに進めてほしい。

## ④ その他

- ・ 環境美化：校内の清掃が行き届いていないため、美化に努めてほしい。
- ・ お弁当の日：親の負担が大きい、生徒が真剣に取り組んでいないなどの理由から、廃止または縮小を求める意見がある。

## 3. 今後の対応について

学校は、これらの意見等を参考に、生徒指導体制の更なる強化、そして生徒の学習権の確実な保障を課題とし、学校・保護者・地域・行政が一体となって現状を乗り越えられるよう、令和8年度の教育課程を編成してまいります。

また、改めて家庭と学校の連携強化は欠かせないと感じたところです。引き続き家庭でのご指導もお願ひいたします。